

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第8回高士区地域協議会

## 2 報告事項（公開・非公開の別）

○諮問事項の意思決定（新市建設計画の変更について）（公開）

## 3 議題

○自主的審議について（公開）

## 4 開催日時

平成27年10月15日（木）午後6時30分から午後7時50分まで

## 5 開催場所

公民館高士分館 2階 中会議室

## 6 傍聴人の数

1人

## 7 非公開の理由

なし

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯野憲静（副会長）、飯野秀一、上野忍、太田早苗、小林トシ子、  
塩坪恭平（会長）、嶋田征夫、中川英一、保坂善夫、横川英男、  
横山とも子（欠席なし）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事

## 9 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【塩坪会長】

- ・挨拶

### 【小林主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長に議長を依頼

**【塩坪会長】**

- ・ 会議録の確認：嶋田委員に依頼

「諮問事項の意思決定（新市建設計画の変更について）」、事務局に報告を依頼する。

**【山田センター長】**

- ・ 資料No.1 により報告

**【塩坪会長】**

今の報告に質疑を求める。

**【飯野秀一委員】**

異議なし。

**【塩坪会長】**

異議なしとの声があったが、他の皆さんもよいか。

（「はいの声」）

それでは、報告事項については終了する。

次に、議題「自主的審議について」事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

- ・ 資料No.2、ワークシートにより説明

**【塩坪会長】**

ワークシートに沿って進めていく。まずは、検討事項1の①、「対象者」について検討していく。意見交換会を行う対象者を「高土区に住む子育て世代を中心とした若い世代の方とし、特に年齢制限は定めない」と考えているが、他に提案があれば発言願う。

**【横山委員】**

資料にある文言が、募集のチラシ等にそのまま出るのか。

**【塩坪会長】**

このまま出すつもりはない。「こういう人たちをターゲットにする」ことを共通認識するために載せている。

**【横山委員】**

今年の3月に懇談会を行った際に、30代や40代の方でも「自分はもう若くない」と発言される方がいたので、チラシ等には「若い世代の方」という言葉は使わない方がよいと思う。

**【塩坪会長】**

横山委員から「若い世代の方」という言葉は使わない方がよいという意見が出たがよいか。

**【横川委員】**

このまま出さないという話があったが、どういうふうな形で文章を出す予定なのか。

**【小林主事】**

まだ決まってはいない。本日の協議の内容を参考に、検討したいと考えている。

**【太田委員】**

「子育て世代」という表現にすれば、「若い世代の方」と入れなくても、私たちがターゲットとしている年代の方たちが集まってくださると思う。また、年齢制限がないなら、中学生や高校生が参加してもよいのか。

**【横川委員】**

言葉尻を取り上げて申し訳ないが、「子育て世代」という表現を使うと、独身の方やお子さんがない方たちは、参加しにくくなるのではないかと思う。

**【保坂委員】**

チラシ等には、あえて対象者は記載しないこととして、その代わりに周知方法を工夫してはどうか。例えば、我々委員が各町内や所属する団体の中で、対象者を把握し、チラシを手渡しし、参加を促すという方法であれば、対象者を記載しなくても、我々が求めている年代の方が集まってくれると思う。また、案内の送付先を保育園の保護者会や小学校のPTA等に絞れば、その年代の方が来てくれると思う。

**【横川委員】**

募集する時に、とにかく若い世代の方たちに来て欲しいと周知するが、チラシの内容的に「子育てしている人も歓迎」とか、「独身の方も是非お越しくください」など、さりげなく記載してもよいかもしれない。いずれにしても、高士区を住みよくするために、どうしたらよいか話し合うという目的がはっきりしていればよいと思う。

**【飯野秀一委員】**

私の町内に、若い世帯が入ってきたようだ。高士へ転入してきた方にも声をかけて、是非参加していただきたいと思っている。

**【塩坪会長】**

本日は、他に決めたいことも沢山あるので、この件については、皆さんからいただいたご意見を参考に、正副会長と事務局で相談させていただき、後日決定するような形と

してよいか。

(「はい」の声)

次に検討事項1の②、「実施日時」だが、いつ頃がよいか。案内作成や周知期間の都合もあるので、すぐということは無理だが、年内には実施したいと考えている。より若い世代の方が集まりやすい日程とする必要があるが、皆さんのご意見はどうか。

**【飯野秀一委員】**

来てもらうとなれば、土日の夜かと思うがどうか。

**【横山委員】**

12月の土曜日だと、若い世代の方は特に忘年会が入るかも知れないので、平日の夜ではどうか。

**【横川委員】**

今までの傾向から、休日よりも平日の夜の方が集まりやすいと思われるので、夜であれば平日の方がよいのではないか。

**【塩坪会長】**

平日だとすれば、どの辺にするか。

**【横川委員】**

予定としては12月がよいか。

**【塩坪会長】**

我々の任期も迫っているので、年内に実施したいと思っている。

(日程調整)

それでは12月9日の夜でよいか。

(「はい」の声)

**【小林主事】**

開始時間も決めていただきたい。

**【横川委員】**

今の時期は暗くなるのが早いので、早目の時間がよいのではないか。

**【太田委員】**

勤めから帰って来た人は夕飯の支度をしてから来るから、早い時間だときついと思う。

**【保坂委員】**

午後7時でよいのではないか。

**【塩坪会長】**

それでは午後7時とするがよいか。

（「はい」の声）

場所については、分館の大会議室でよいか。

（「はい」の声）

次に検討事項2、「意見交換の内容」について、①～⑤まで記載されているが、他に何かあれば発言願う。

**【保坂委員】**

成果発表会で、「雪まつり実行委員会」に発表していただく形になっているが、「高士スターズ」にも発表していただけたらどうか。

**【塩坪会長】**

保坂委員から昨年度、活動支援事業を活用した「高士スターズ」からも、試合結果や練習内容等を発表していただけたらどうかという意見があったが、お願いしてよいか。

（「はい」の声）

では、「雪まつり実行委員会」と「高士スターズ」の2団体に依頼する。

**【飯野秀一委員】**

そうすると、「幼年野球」からも発表していただいた方がよいのではないかと。

**【塩坪会長】**

「高士スターズ」は新しいチームだし、「幼年野球」は昔からやっているから、今回は「高士スターズ」にお願いするような形でよいのではないかと。

**【保坂委員】**

今回は、「若い世代の方との意見交換」がメインなので、若い女性が多く所属する「高士スターズ」の皆さんを呼ぶことで、意見交換会が盛り上がるのではないかと思い、「高士スターズ」を推薦した。

**【飯野秀一委員】**

「幼年野球」も同じ世代の方が多く所属されていると思う。少しでも多くの方を集めるということになれば、「幼年野球」の方たちにも来てもらうことも必要だと思う。

**【塩坪会長】**

発表者として、「幼年野球」の方たちにもお願いしたいという意見があったが、皆さんはどうか。

**【横川委員】**

確かに、そういう人たちに声をかけるのはよいだろうが、発表があまり多くても、時間が取られてしまって、一番の目的である「若い世代の方との意見交換」の時間が削られてしまうのはどうかと思う。「幼年野球」の皆さんにも声をかけて、参加してもらうのはよいと思うが、発表していただくのは2団体くらいに絞った方がよいと思う。

**【保坂委員】**

委員視察研修の発表はしなくてもよいのではないか。

**【飯野副会長】**

今年の委員視察研修先は、小布施町の「若者会議」というところで、若者が主体になって色々なイベントを実行している団体だ。高土区の若い世代の方に、「他の地域の若い世代の方は、こんな活動をしているよ」ということをお知らせができるので、この項目は必要だと思う。

**【塩坪会長】**

時間がなければ仕方がないが、時間があれば若い世代の方たちに、他の地区の情報を流してあげることも大切だと思う。

**【保坂委員】**

承知した。そのような内容であれば、委員視察研修の報告は必要であると思う。

**【塩坪会長】**

発表をお願いする団体について、「幼年野球」を入れて3団体にするか、入れないで2団体とするかを決めたいと思う。

**【保坂委員】**

「高土スターズ」は、若い世代の方たちが立ち上げ、活発的に活動を行っているので、前向きな話が聞けると思う。「幼年野球」も前向きな活動をされているが、子どもたちがメインの活動なので、今回の趣旨を考慮すると、発表していただくなくてもよいと思う。

**【横川委員】**

「発表して欲しい」と頼んでおいて、当日になって「時間がないからしなくてよい」となると失礼なので、2団体に絞った方がよいと思う。

**【塩坪会長】**

それでは、「雪まつり実行委員会」と「高土スターズ」に発表をお願いすることとし

てよいか。

(「はい」の声)

それでは検討事項3、「出席者」について協議していきたいと思う。

**【太田委員】**

雪まつり実行委員会の方は何人くらいなのか。

**【小林主事】**

主体的に動いていらっしゃる方は5人と伺っている。

**【横山委員】**

雪まつり実行委員会の中には、高士スターズとして活動されている方も数名いると思う。

**【太田委員】**

高士スターズから9人くらい来てくれればよいが、雪まつり実行委員会とかぶっていらっしゃる方もいると、人数的にはあまり期待できない。

**【横川委員】**

その他の若い世代の方にも周知するので、心配はないと思う。

**【太田委員】**

確実に来ていただける人は大体何人かを確認したかった。回覧板等で案内をただけ  
では人は集まらないので、手渡しでチラシを渡すなど、我々が積極的に集めないと、な  
かなか人は集まらないと思う。

**【横川委員】**

資料に記載してある他に、婦人会や振興協議会からおいで願えばよいのではないかと  
「雪まつり」となれば、各町内の人たちも関わる部分もあると思うし、婦人会も関係し  
てくるので、話を聞いていただく良い機会ではないかと思う。

**【保坂委員】**

振興協議会に声をかけると、若い世代の方よりも高齢者が多くなり、若い世代の方が  
発言しにくい雰囲気になることが心配だ。

**【太田委員】**

この時に呼ぶのではなく、後で我々から振興協議会や婦人会に報告してもよいのでは  
ないか。

**【飯野副会長】**

振興協議会や婦人会は会員の全員ではなく、会長、副会長のみ出席していただくよう

にしてはどうか。

**【塩坪会長】**

意見交換の時に発言するというよりも、若い世代の方の意見を聞いてもらうために、振興協議会や婦人会から代表者に来てもらえばよいと思う。

**【横川委員】**

若い世代の方の想いや意見を、振興協議会や婦人会の方たちに知っていただき、まちづくりの参考にしてもらいたいと思う。若い世代の方たちから意見が出たら、それに向かってどうするかを高士区全体で話し合っていければよいと思う。それには、我々だけでなく立場のある人たちから来ていただいた方がよい。

**【塩坪会長】**

それでは、出席者については記載してある以外に、振興協議会の代表者と婦人会の代表者、高士スターズに声をかけることでよいか。

(「はい」の声)

次に検討事項4、「若い世代の方への周知方法」について協議する。多くの若い世代の方に集まっていただくためにどうしたらよいか、発言を求める。

**【保坂委員】**

飯野委員に聞くが、体育協会の役員などに子育て世代や独身者など若い世代の方はいるのか。

**【飯野秀一委員】**

独身の方はあまりいない。小学校や中学校のPTAをされている世代の方であれば何人かいる。

あまり所属団体にこだわらず、我々が個別にチラシを配布し、一人でも多くの人に集まってもらえればよいと思う。どこの団体にも所属していない方にも、参加していただきたい。

**【中川委員】**

どこの団体にも所属していない方にこそ、参加してもらいたい。

**【飯野秀一委員】**

転入してきた人にも声をかけようと思っている。

**【横川委員】**

周知方法については、先ほど太田委員の言われたように、我々がチラシを手渡しし、



参加してもらえるようお願いするのが一番よいと思う。それぞれ自分の地域の人数は大体把握していると思うので、回覧するよりも、協議会委員が手配りして情熱や意気込みを見せることが大切だ。

**【飯野秀一委員】**

独身の方にも積極的にチラシを配ろうと思う。

**【横川委員】**

我々だけでなく、各団体の会長へも協力依頼をして、その団体の若い世代の方へ参加を促していただきたいと思う。

**【塩坪会長】**

それでは、事務局でチラシを作成し、個々に足を使って、知っている人に周知してもらおうということによいか。

**【保坂委員】**

それに加えて、保護者会、PTA、消防団などの各団体の長宛にご案内の文章を送付し、参加を促したい。

**【飯野秀一委員】**

資料として、過去、現在、未来の人口減少の推移などのデータがあれば、若い世代の方たちも分かりやすいと思う。

**【山田センター長】**

資料だが、市の創造行政研究所などと連携しながら、高土区のデータを提供したいと考えている。

**【塩坪会長】**

これで、若い世代の方との意見交換会についての協議を終わりにする。

- ・ 次回の協議会：11月25日（水曜日）午後6時30分から、公民館高土分館の中間会議室で開催する

**【小林主事】**

- ・ 委員視察研修の参加人数や集合場所について連絡

**【塩坪会長】**

- ・ 会議の閉会を宣言

**【飯野副会長】**

- ・ 閉会の挨拶

10 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : [chubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。